３学年保護者の皆さまへ　　平成 27 年 7 月 9 日

伊丹市立伊丹高等学校
ＰＴＡ会長　金川美也子
学年部長　　樽井　由美

# ３学年保護者会だより

毎日暑い日が続きますが保護者の皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。
平素はＰＴＡ活動にご協力いただきありがとうございます。
さて、６月３０日(火)に開催されました「３学年保護者会」の報告をいたします。
（参加者人数：保護者　７１名、先生方　９名、合計８０名でした。）

〔 教頭先生より 〕

神戸コンチェルト（レストラン船）にインターンシップに来た中学生に、「あなたはどんな時に幸せを感じますか？」と質問すると、中学生は「試合に勝った時」などの回答でしたが、インターンシップが終わってから、もう一度同じ質問をすると、「自分が一生懸命してほめられた」、「感謝をされた時に幸せを感じた」などの回答に。

子供を応援してあげてください。３月には子供から「お父さん、お母さん、ありがとう」と感謝されて、親も幸せを感じるでしょう。

〔 学年主任　福村先生より 〕

専門学校希望者はＡＯ入試の受験日が決まり、就職希望者は７月１日から求人票の公開が始まり、いよいよ具体的な進路に向かって動き出しました。そして、大学・短大進学者は本当の意味での「受験生」になる夏がやってきます。

具体的に受験生は、いかに夏の学習に取り組み始めることができるかが、最初の関門です。終業式までの 14 日間（土日含む）は、「プレ夏休み」と位置付けましょう。

３年生の夏休みは、これまでと異なり、学校からまとまった課題はありません。皆さん一人ひとりの必要に応じて、学習を組み立てなければいけません。第１関門は、自分で学習材料をそろえることができるかどうかです。第２関門は、自らの設定した課題を日々の学習に位置付けることができるかどうかです。この 14 日間でいろんなことを試して、18 日から本格的スタートを切ることが大切です。

「プレ夏休みから取り組むべきこと」を３点あげますので参考にして下さい。

・夏の学習に向けて
・進研マーク模試個人成績票返却
・三者懇談に向けて

『詳細は、第 68 回生学年通信№33（７月３日発行）に掲載します。』

〔 １組　辻 先生より 〕

GC コースの生徒にとって、同じメンバーで３年目、同じ担任で２年目と大きな変化がない中、４月よりオーストラリアからの留学生、レベッカ･ホワイトさんが加わり新鮮な雰囲気で第三学年がスタートしました。レベッカもすっかりクラスに打ち解け、高校時代から日常的に英語に触れる環境にいる GC 生徒が羨ましくもあります。

文化祭では最初から最後まで生徒自身で劇を作り上げました。それぞれが役割を果たすという３年間の繋がりが溢れる１組らしい劇を披露できました。その結果、悔し涙を流しながらも、達成感を感じて「特別賞」をいただきました。

２年目となる終礼での一分間スピーチや独自の日直日誌などを通して”Global Communication”コースの集大成となる一年を送りたいです。

〔 ２組　曽田 先生より 〕

３年２組の生徒は、国公立、私大、短大、看護系、専門学校、就職と様々な進路を希望しています。ですから、クラス全体にむかって「進路とはこうだ！」といった話は難しいのですが、たくさんの価値観があるぶん、とても刺激的なクラスになっています。将来の方向性は違っても、３年２組として団結しようという思いが生徒の中にはしっかりと存在していて、クラス行事はとても楽しいですし、これからも楽しいに違いありません。「市高生でよかった」「最後まで頑張った」と生徒全員が思えるように、精いっぱいサポートしていきます。これからもよろしくお願いいたします。

〔 ３組　中村須美代 先生より 〕

３組は理系 41 名とメンバー変更もなく、担任も同じで、２年次と変わらない雰囲気です。やや子どもっぽいところがあるものの、もの作りと勉強が好きな生徒が多いと感じています。

信楽遠足では、陶芸で一般的な茶わん類ではなく様々な独創的なオブジェを制作された子もいました。また、文化祭ではいち早く大道具の製作に取りかかり、お菓子の家を何時間も費やして作り上げました。衣装も、水切りネットをティンカーベルのスカートに利用するなど豊かな発想で、工夫していました。

勉強に関しては、自発的に模試の自己採点をしたり、休み時間に単語の問題を出し合ったり、わからない問題を教え合ったりと、隙間時間を活かして勉強している姿をよく見ます。模試もほぼ全員受験で頑張っています。41 名全員が互いに高め合って、進路実現できるよう努力していきますので、ご協力よろしくお願いいたします。

〔 ４組　井戸川 先生より 〕

大学や専門学校、就職と、それぞれの進路に向け頑張っています。部活動の引退や、専門学校の出願がはじまっていることもあり、三年生としてのしっかりとした自覚が出てきたように感じます。文化祭の劇では３９人が、本当に力を合わせて一つの劇を作り上げることができました。優秀賞をいただくこともでき、将来思い出すたびに微笑ましい気持ちになるような、そんな思い出が出来たと思います。これからの行事、進路のことにも３年４組一丸となって全力で取り組んでいきます。

〔 ５組　津田 先生より 〕

３年５組の生徒の多くは４年制大学の、関西学院大学、関西大学、近畿大学を第一志望にしています。また、学級日誌の自由記述欄に、現在は[今取り組んでいる科目]を設けています。そこに記入された内容から、ほとんどの生徒が日本史に注力していることがわかりました。今後受験に向けて、日本史を最大の武器にして頑張っていきたいと思います。

学校生活では、５組のみんなで順番に誕生日ムービー（誕生日の生徒へあてたビデオレター）を作成し、月単位で編集して月末の LHR で見ています。友達同士でどんな内容にするか相談して、カメラの前で無邪気にはしゃぐことで、受験で張り詰めていた緊張をほぐす抜きどころになってもらえればいいなと思っています。

〔 6組　今井 先生より 〕

6組は、文化祭準備がなかなか進まず心配していましたが、最後には集中力を発揮し、がんばり、完成しました。残念ながら賞を手にすることができず、みんな泣くほど落胆していました。しかし、いい加減に完成させたのではなく一生懸命努力したことはこれからの力となるでしょう。勉強面では、受験だけでなく一生勉強ということで、チーム6組は全員が単語カードを持って、各自の隙間時間を上手く使える勉強をしています。この小さな取り組みが大きな目標につながればいいと望んでいます。

〔 7組　古川 先生より 〕

7組は3年間同じクラスでやってきましたが、春の遠足では、今年は体調を崩す者がいなくて初めて全員参加することができました。

文化祭では、映像編集やダンスなど各個人の特技を活かし、全員で協力しそれが結果につながり最優秀賞を獲得することができました。去年までは文化祭の気分がなかなか抜けないまま検定試験や期末考査を迎えることが多かったように思いますが、今年はすぐに切り替えて勉強を頑張っていると思います。

大切な検定試験と期末考査が重なり、生徒には大変負担がかかっていますが、最後まで全力で取り組んでほしいと思います。

〔 進路指導　中村須美代 先生より 〕

「進路選択に向けて」

1．入学後の学生生活について

・教育力・研究力・満足度を比較すると、国公立大が私立大より優位である。
・私立大でも、ランクの高い大学の方が満足度は高い。
・近畿圏の私立大自宅通学と地方国立大の下宿でほぼ同額。

2．就職面からの進路選択

・「ネット就活」「就活期間の短縮」が進行している。
・採用とする大学を設定している企業が増加。
・関関同立クラス・地方国公立クラスの大学群は採用ターゲットとされており、上場企業への就職率も高い。

3．2015 年度入試結果分析

・既卒生の大学志願者数が1割減少し、難関大合格者の現役占有率が上昇し、現役中心入試であった。
・新課程初年度で、センター試験の理科の枠組み変更と出題範囲拡大があった。負担感増による、国公立・センター方式が敬遠された。数ⅡＢの低平均点から入試科目設定により人気が変化した。
・就職環境の変化と、易化してきた文系に狙い目感から、社会科学系の人気が復調し、近年の文低理高が崩れた。

4．2016 年入試動向

・出題範囲・科目が全面新課程に移行。
・志望動向は今春入試を踏襲し、文系人気、安全志向。
・私立大学で新増設が継続。

５．進路実現に向けて

・入試方式に関して、①入試を通してどのような力を身につけさせたいか、②進路の可能性が広がる方式、③お子さんの状況を考える。
・模試の判定は志望校との距離を知るためのもの。私立大は入学辞退者の割合が文系約７割、理系約８割と多く、Ｃ・Ｄ判定からチャレンジ可能。
・私立大・国公立大とも入試方式が多様化・複雑化している。
・センター試験は大学進学希望者は全員受験。国公立大進学には必須で、私立大も９割がセンター試験利用入試を実施している。センター試験の受験で選択肢が広がる。
・模試は全部受験し、学力向上のために有効活用。
・現役合格に向けては「夏休みに苦手科目の克服」「規則正しい生活で、勉強時間の確保」「ＡＯ推薦受験希望者は志望理由の裏付け作り」「進路についての家庭での話し合い」を行ってほしい。
・今後の入試スケジュールは生徒配布済みの「進路ガイド」を参照。
・進路実現に向けて、第一志望校は安易に下げないことが大事である。模試は 11 月で終わりだが、現役生の力は最後に伸びる。粘り強く最後まで頑張ることが第一志望合格につながる。また、受験は団体戦である。互いに切磋琢磨して最後まで共に頑張ってそれぞれが納得できる進路へ進んでほしい。

進路説明の後、各クラスに分かれて担任の先生との懇談があり、終了しました。

この度は、多くの保護者の皆さまにご参加いただきありがとうございました。
参加者の皆さまのおかげさまで、無事終えることができました。ご協力ありがとうございました。
最後になりましたが、当日お忙しい中参加いただいた先生方には、大変お世話になりました。心よりお礼申しあげます。

３学年部一同